

## TOPICS

## トピックス

### フランス、イタリアの研究機関と国際学術交流協定を締結

平成 27 年 2 月に、フランスの原子力・代替エネルギー庁 (Commissariat à l'énergie atomique et aux énergies alternative, CEA)、イタリアの電離気体研究所 (Institute of Ionized Gas, IGI)、イタリアの RFX コンソーシアム (Consorzio RFX) と、核融合研究における研究協力関係を推進するため、それぞれ国際学術交流協定を締結しました。

フランス CEA の磁場核融合研究所では、トカマク型という形式のプラズマ実験装置 WEST における長時間プラズマ放電実験の準備が進んでいます。イタリアの IGI では、プラズマを加熱するための中性粒子ビーム入射装置の開発が行われています。また、同じくイタリアの RFX コンソーシアムでは、逆磁場ピンチ型という形式のプラズマ実験装置 RFX において、プラズマの振る舞いやプラズマと材料の相互作用等の研究が行われています。

今回協定を締結した研究機関を合わせて、核融合科学研究所が国際学術交流協定を締結した海外研究機関は、21 機関となりました。国際学術交流協定は、お互いの研究機関の研究者や学生の活発な交流をサポートするものです。今回協定を締結した各研究機関とは、既に共同研究がスタートしており、協定締結を契機として、研究が益々進むことが期待されます。



フランス CEA との協定調印後の記念写真。左から、坂本教授、竹入所長、Gabriele Fioni CEA 物理科学部門長、小森前所長、Alain Becoulet 磁場核融合研究所所長、Tuong Hoang 磁場核融合研究所所長補佐、増崎教授



握手を交わす Vanni Antoni IGI 所長と小森前所長



調印後に言葉を交わす Francesco Gnesotto RFX コンソーシアム事業長と小森前所長

### 最終講義が行われました

平成 26 年 3 月 31 日をもって退職された先生方の最終講義が、平成 27 年 3 月 10 日及び 3 月 16 日に、核融合科学研究所で行われました。また、3 月 16 日には、セラミックパークMINOにおいて、小森彰夫核融合科学研究所長 (当時) の最終講義が行われました。各会場には、研究者や学生等が多数集まり、熱心に聞き入っていました。

最終講義の題目は、以下のとおりです (職名及び所属は当時のもの)。



河野 孝央 准教授  
(装置工学・応用物理研究系)  
「放射線とともに歩んだ 44 年を振り返って - 今だから言える話など -」



井口 春和 准教授  
(高密度プラズマ物理研究系)  
「試行錯誤の研究者人生 40 年」



小森 彰夫 所長  
「基礎プラズマと核融合」



SKORIC Milos 教授  
(基礎物理シミュレーション研究系)  
「Taming Nonlinear Plasmas」



須藤 滋 教授 (高温プラズマ物理研究系)  
「プラズマ・核融合研究とともに 40 年 - 皆様に感謝しつつ -」

### 平成 27 年春の叙勲 飯吉厚夫初代所長 瑞宝中綬章受章

平成 27 年 4 月 29 日に春の叙勲受章者が発表され、本研究所の初代所長である飯吉厚夫名誉教授 (中部大学理事長・総長) が瑞宝中綬章を受章されました。この受章は、多年に亘るプラズマ・核融合科学研究所の発展と高等教育の振興発展にご尽力された功績によるものです。本研究所では、建設期の 10 年間で所長としてご活躍いただきました。

栄えある叙勲を受けられましたことをお祝い申し上げます。